社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年02月15日

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画（重点計画）第２回変更		
計画の期間	令和０４年度　～　令和０８年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	蕨市		
計画の目標	駅前広場、区画街路の拡幅に合わせ、シェルター等の設置を含めた歩行者空間の充実など、ユニバーサルデザインに配慮した整備により、安全性や利便性、快適性の向上を図るとともに、先行工区である蕨駅西口地区7番街区に連続するプロムナードを中心に、公共公益施設、商業施設及び都市型住宅が調和した魅力ある空間を形成し、居住人口の定着を図り、にぎわいの創出、新たなコミュニティの形成につなげ、蕨の玄関口の再生と魅力づくりを目指す。		

全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	26,121	A	26,121	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)		(R9末)
1	居住人口を4283人から5043人に増加			
	事業地区を含む周辺（中央１丁目）に居住する人口の統計により算定する。	4283人	人	5043人
2	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する満足率を20.8%から30.0%に増加			
	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合により算定する。	208‰	‰	300‰

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

「蕨駅西口地区整備計画」（計画期間：H30年度～R4年度）から「蕨駅西口地区整備計画（重点計画）」（計画期間：R4年度～R8年度）にR4年度から移行した。

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R04	R05	R06	R07	R08	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	蕨市	間接	市街地再開発組合	－	－	蕨駅西口地区第一種市街地再開発事業	商業、公益施設、住宅等　約1.3ha	蕨市	■	■	■	■	■	7,833	1.30	－
		「蕨駅西口地区整備計画」（計画期間：H30年度～R4年度）から「蕨駅西口地区整備計画（重点計画）」（計画期間：R4年度～R8年度）にR4年度から移行した。																	
	A13-002	市街地	一般	蕨市	間接	市街地再開発組合	－	－	蕨駅西口地区（防災・省エネまちづくり緊急促進事業）	商業、公益施設、住宅等　約1.3ha	蕨市	■	■	■	■	■	18,288		－
		A13－002の事業費は一般分のA13－001と重複あり																	
											小計						26,121		
											合計						26,121		

案件番号：

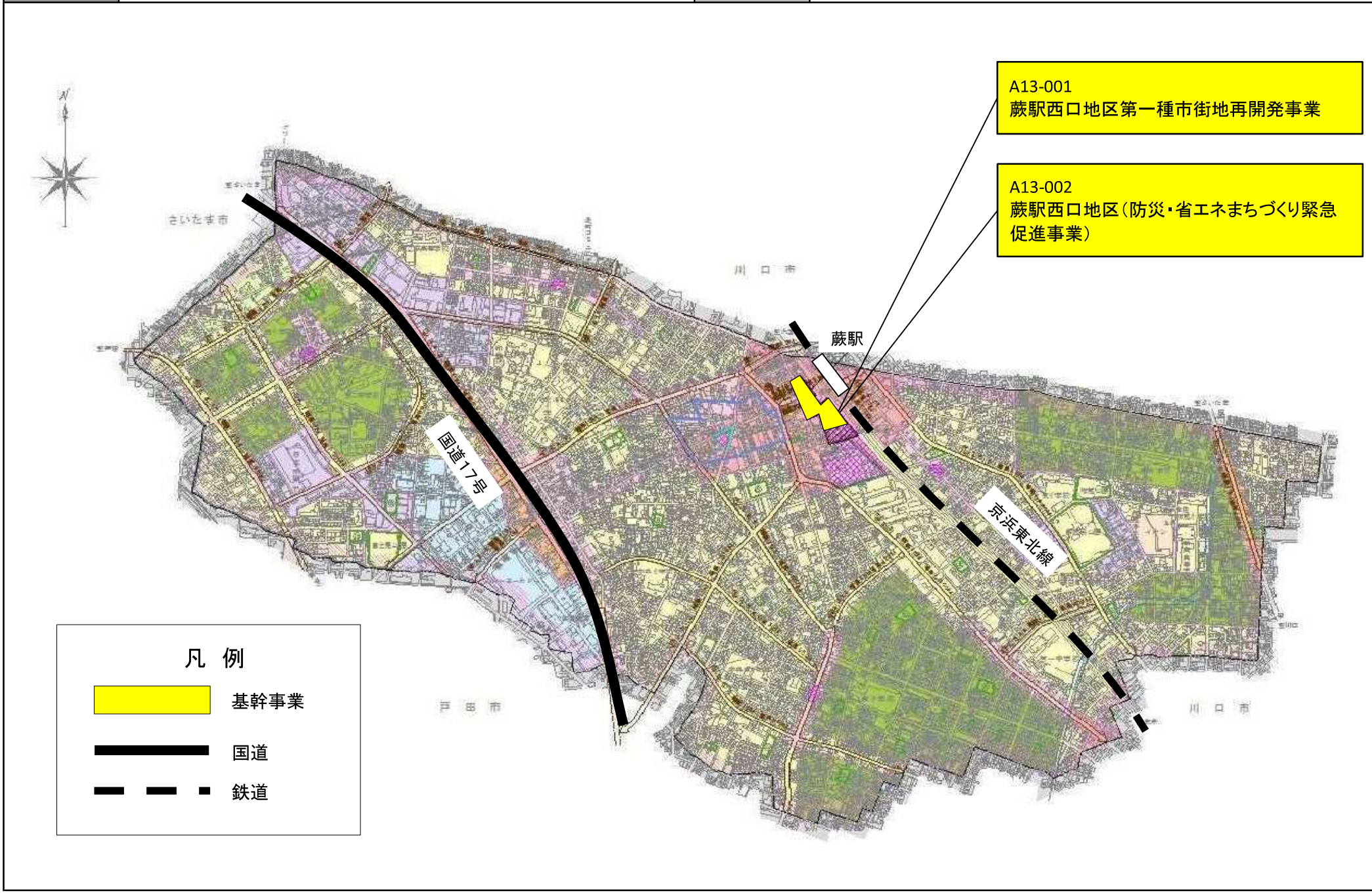
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R04	R05	R06	R07	
配分額（a）	75	174	371	528	
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	
交付額（c=a+b）	75	174	371	528	
前年度からの繰越額（d）	0	75	109	0	
支払済額（e）	0	140	480	528	
翌年度繰越額（f）	75	109	0	0	
うち未契約繰越額(g)	75	0	0	0	
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d)）%	100	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	権利者との合意により建築工事着工時期を見直したため。				

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画（重点計画）第２回変更		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和8年度　（5年間）	交付対象	蕨市



事前評価チェックシート

計画の名称： 蕨駅西口地区整備計画（重点計画）第２回変更

事　前　評　価	チェック欄
Ⅰ.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　１）上位計画等と整合性が確保されている。	○
Ⅰ.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
Ⅰ.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
Ⅱ.　計画の効果・効率性	
④事業の効果　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意　３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：